

## 【背景・目的】

- **都市鉄道の整備は、鉄道利用者の利便性や速達性を向上させるだけでなく、沿線地域の魅力の向上、環境の保全、都市競争力の強化等、沿線の住民生活や地域経済を含めた社会全体に新たな価値をもたらすものであり、多様な主体が幅広く受益する。**
- 「今後の都市鉄道整備の促進策のあり方に関する検討会」のとりまとめでは、都市鉄道整備の費用負担の基本的な考え方として、**プロジェクトごとに見込まれる都市鉄道の開発利益について検討を行い、地域、開発事業者をはじめとする多様な主体による費用負担を検討することが重要**としている。
- 都市鉄道整備の開発利益の還元を促進するため、**開発利益の還元につながった過去の事例、今後の開発利益の還元に資する考え方や仕組み等について整理の上で広く共有し、鉄道事業者、地方公共団体等による都市鉄道整備の開発利益の還元等に関する議論を後押しすることが重要**であることから、本検討会を設置する。

## 【構成員】

＜委員＞ ◎：座長 （敬称略・五十音順）

伊東 誠 運輸総合研究所 特任研究員  
◎岩倉 成志 芝浦工業大学 工学部 土木工学科 教授  
野澤 千絵 明治大学 政治経済学部（都市政策・都市行政） 教授

＜オブザーバー＞

東急電鉄、東京メトロ、名古屋鉄道、京阪電鉄、日本民営鉄道協会、東京都、大阪市

＜事務局＞ 国土交通省 鉄道局 都市鉄道政策課